

令和7年度第20回中国高等学校フェンシング新人大会

兼 第50回全国高等学校選抜フェンシング大会中国地区予選会

監督会議資料

令和7年11月14日（金）17：00～
エフピコアリーナふくやま 大会本部室

会議次第

1. 開会挨拶
2. プログラムの確認
 - 1) 配布部数の確認
 - 2) 監督・選手の確認
3. 団体戦の抽選
4. 競技について
 - 1) コールについて
 - ①個人戦
 - ②団体戦
 - 2) 試合の方法について
 - ①個人戦
 - ②団体戦
 - 3) 順位決定およびシードについて
 - ①個人戦
 - ②団体戦
 - 4) 試合進行について
 - ①個人戦
 - ②団体戦
 - 5) その他
5. 用具検査について
 - 1) 検査用具
 - 2) 検査日時
 - 3) 合格証
 - 4) その他
6. 会場について
7. 開会式・表彰式・閉会式について
 - 1) 開会式 15日（土） 9：00～
 - 2) 表彰式 15日（土） 個人戦終了後、両日団体戦終了後
 - 3) 閉会式 16日（日） 団体戦終了後
8. 医療・救護について
9. その他
10. 閉会挨拶

1. 開会挨拶

2. プログラムの確認

- 1) 配布部数の確認
- 2) 監督・選手の確認

3. 学校対抗戦の抽選

4. 競技について

1) コールについて

- ①個人対抗戦 コールはD T受付で8時30分から。(選手でも可) 選手確認はピスト上で行う。
- ②学校対抗戦 コールおよびオーダー交換はD T受付で行う。(監督)
※初日は個人対抗戦表彰後、2日目は8時30分からコールを行う。以降は放送で連絡する。
※選手に番号を付けているので、番号も記入する。(D T横に掲示)

2) 試合の方法について

- ①個人対抗戦 ・1回戦は5名×3プール(3分、5本勝負)で行い、12名が2回戦に進出する。
・2回戦以降はトーナメント方式(3分×3セット、15本勝負)で行い、3位決定戦は実施しない。
- ②学校対抗戦 ・1チーム5名編成で3名の選手によるリレー方式とする。
・男女共45本勝負で、1試合の時間は実働3分とする。

3) 順位決定およびシードについて(全国高体連フェンシング部規定)

- ①個人戦：トーナメント進出者の決定は1～3の順で行う。
 1. 勝数(V)÷試合数(M)の指数の高いものを上位とする。
 2. 突数(TD)÷被突数(TR)の指数の高いものを上位とする。
 3. 突数(TD)÷試合数(M)の指数の高いものを上位とする。※トーナメント進出の最終順位が複数出た場合は実働3分5本勝負で決定する。
※1～3がすべて同じ場合は5本勝負のバレーを行う。
※プール戦において、選手が試合途中で棄権した場合はその選手は最初から出場しなかったものとする。
- ②学校対抗戦：リーグ戦の順位決定は次のとおりとする。
 1. チーム勝数(VE)÷チーム試合数(ME)の指数の高いチームを上位とする。
 2. 総突数(TDI)÷総被突数(TRI)の指数の高いチームを上位とする。
 3. 総突数(TDI)÷総個人試合数(MI)の指数の高いチームを上位とする。※1～3が同じ場合は、代表者1名により5本勝負の決定戦を行う。
ただし、全国選抜の出場権を決定する場合のみ行う。
※何らかの理由で選手が2名になった場合、そのチームは棄権とし、最初から出場していなかったものとする。
※選手が試合順序を間違えて出場した場合、誤った対戦順で行われた試合は全て無効とし、正しい対戦順序で行われた最終試合の次の対戦から再開する。

4) 試合進行について

- ①個人対抗戦：タイムテーブルに沿って試合を行う。
- ②学校対抗戦：試合が遅く終了したピストに合わせ、試合終了後10分を目安に次の試合を行う。
オーダー交換は放送により招集し、D T受付にて行う。

5) その他

- ・競技場内には選手・監督以外は入れない。(個人対抗戦の1回戦プールは選手のみ)
- ・試合後は記録の確認、署名を行う。(個人対抗戦は選手、学校対抗戦は監督が行う。)
- ・罰則と違反は全国高体連フェンシング部規定を適用する。

5. 用具検査について

1) 検査用具

- ①フルーレ ビブ付きマスク、メタルジャケット
- ②エペ マスク
- ③サーブル マスク、メタルジャケット、カフ

2) 検査日時

- ①11月14日(金) 14:00~18:00

男女個人対抗戦フルーレ、男子学校対抗戦フルーレ、女子学校対抗戦エペ・サーブル

- ②11月16日(土) 9:00~12:00 ※12時以降は大会本部で随時対応

女子学校対抗戦フルーレ、男子学校対抗戦エペ・サーブル

3) 合格証(右図)

4) その他

1. 剣、ボディーコードについては主審がピスト上で行う。
2. 服装は規則に適合するものであること。
 - ・ユニフォーム 350N以上
 - ・半袖プロテクター 800N以上(女子選手は金属または硬い材料でできている胸当てを着用し、フルーレの時はソフト素材のパッドを装着する。)
3. 選手は頭髮に注意し、頭髮がメタルジャケットの表面にかからないこと。
4. ゼッケンは全国高体連の規定に準ずる。
5. アップ等のファイティングにおいても上下ユニフォームを着用すること。
6. その他、不備のある場合は直ちに罰則対象となる。



6. 会場について

- 1) 開館は15日(土)、16日(日)とも午前8時とする。

朝のピストを使った練習 1P:鳥取、2P:島根、3P:山口、4P:広島、5P:岡山、6P:共用

- 2) 駐車場は体育館東側のみらい創造ゾーン(無料)が利用できる。※体育館の駐車場は有料

- 3) 上履きと下履きの区別をつけること。

- 4) 練習は必ず所定の場所、時間を守ること。(メインアリーナ内練習場所)

- ・11月14日(金) 14:00~18:00
- ・11月15日(土) 8:00~競技終了
- ・11月16日(日) 8:00~競技終了

- 5) 剣の曲がり直しは必ず備え付けの板の上で行う。

- 6) 会場内への飲料水の持ち込みはキャップの付いたものとする。

- 7) 各県控場所での飲食は可能である。

- 8) 貴重品の管理は各校で責任を持って行う。

- 9) 用具を置いて帰る場合は、各県控場所に整理整頓する。

- 10) 喫煙は所定の場所で行うこと。

7. 開会式・表彰式・閉会式について

1) 開会式 15 日（土） 9：00～（5 分前に学校ごとに整列する）

大会本部	山口	選手
	広島	〃
	岡山	〃
	鳥取	〃
	島根	〃

2) 表彰式 15 日（土） 個人対抗戦終了後（3 位まで表彰）、学校対抗戦終了後（3 位まで表彰）
※個人対抗戦の 4 位～8 位までの選手は、表彰式後に大会本部で賞状を受け取る。

3) 閉会式 16 日（日） 学校対抗戦終了後、学校対抗戦の表彰も兼ねる（3 位まで表彰）

8. 医療・救護について

大会本部に救護員が常駐する。

緊急の場合は、救急車要請または、休日当番医での対応とする。

9. その他

第 50 回全国高等学校選抜フェンシング大会について

期日 令和 7 年 3 月 24（火）～3 月 26 日（木）

会場 島原復興アリーナ

※出場枠について

今年度については記念大会として、各種目男女とも、各県 1 校に出場枠が与えられている。

男女サーブルについては、出場のない県があるため、各県シード順位 2 位校のリーグ戦を行い、結果をもとに追加の出場枠を与える。

10. 閉会挨拶

試合結果はこちら

広島県高等学校体育連盟 HP>専門部一覧>フェンシング>第 20 回中国高等学校フェンシング新人大会

<https://hiroshima-koutairen.jp/fencing/entry-23743.html>

